

VAULT[®]製品マニュアル

補足資料 VVAULT4.1.0以降の仮想ドライブへのデータ取り込み方法について

本書のご利用にあたって

本文書には著作権によって保護される内容が含まれています。本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き禁止されています。本文書内の社名、製品名は各社の商標、又は登録商標です。本文書の内容は 2012 年 11 月 15 日現在のものです。

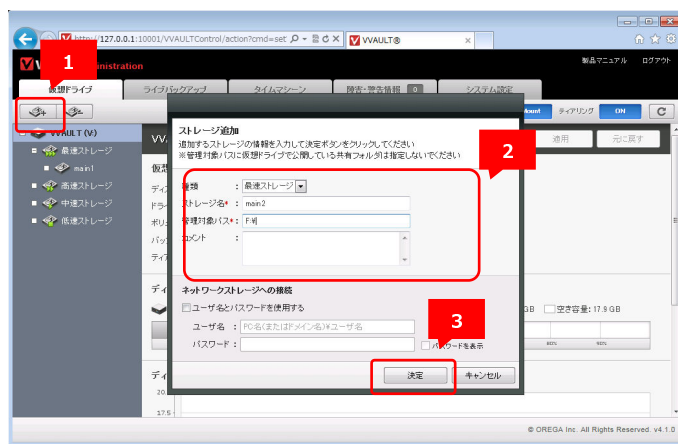
※本文書で使用している情報及び画像は本文書執筆時点のものです。そのため、最新版の製品および製品 Web サイトと文言やデザイン等が異なる場合がございます。

仮想ドライブに既存データを取り込むには？

VVAULT の仮想ドライブ上に既存のデータを取り込む方法が VVAULT4.1.0 以降変更となりました。

これまでは構成ストレージの追加時に管理パス上にデータが存在した場合、取り込むかどうかを確認するダイアログが表示され、「OK」を選択することで構成ストレージの追加と同時に取り込みが実行できましたが、管理パスの指定間違いなどによる意図しない取り込みなどを防ぐため、VVAULT4.1.0 以降では構成ストレージ追加後に明示的に「取り込む」ボタンをクリックすることによってのみ取り込みを行います。

ここでは VVAULT4.1.0 以降の既存データを取り込みの手順について説明します。



1 VVAULT の管理画面の仮想ドライブタブより、ストレージの追加をクリックします。

2 「ストレージの追加」画面にて「ストレージ名」と「管理対象パス」を指定します。（左図では管理対象パスとして“F:”を指定）

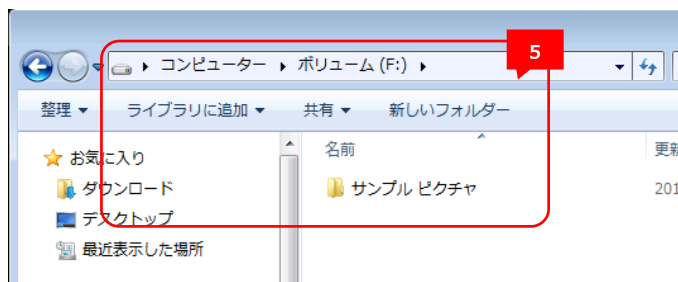
3 「決定」をクリックします。



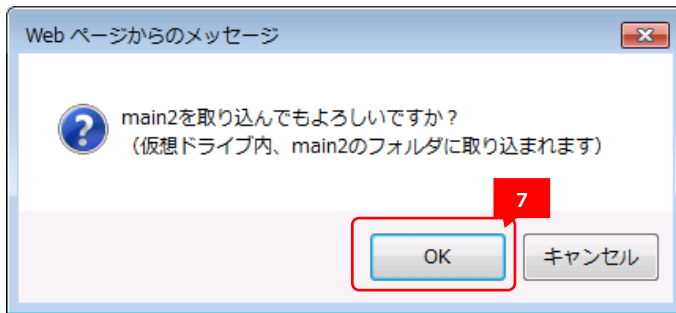
4 追加した構成ストレージを選択します。

5 管理対象パス下に取り込み対象のデータが存在することを確認します。

管理対象パスに除外したいデータが含まれる場合は「取り外す」をクリックしてストレージを解除し、目的のデータのみ含まれるように調整し、構成ストレージを追加してください。



6 「取り込む」をクリックします。



7 「OK」をクリックします。



8 取り込みが開始されたことを確認します。



株式会社オレガ

東京都新宿区山吹町347 藤和江戸川橋ビル6F
<http://www.orega.co.jp/>